

令和6年度第3回千葉西警察署協議会

1 開催日

令和7年1月29日（水曜日）

2 開催場所

千葉西警察署

3 出席者

・協議会委員 9人 ・警察署 14人

4 業務報告

（1）管内の犯罪発生状況について

（2）管内の交通事故発生状況について

（3）「頼れる、誇れる、思いやりのある千葉県警察」の確立に向けた取組の推進状況について

5 警察署からの諮問事項

【諮問】速度取締り指針及び駐車監視員活動ガイドラインについて

【答申】可搬式オービスによる速度取締りについては、速度違反の検挙と抑止の二つの目的があると認識しているが、可搬式オービスの設置場所等を周知することが速度違反の抑止効果を高めると考えるので、可搬式オービスについて広く周知したらどうか。

【措置】速度違反の指導取締りについては、交通事故実態の分析結果等を勘案して策定した「速度取締り指針」に基づいて実施していますので、交通事故の抑止と被害の軽減に向け、引き続き「速度取締り指針」を周知してまいります。

6 委員からの要望・意見等

（1）自転車の取締り状況について

【質問】令和6年11月から自転車の交通ルールが厳しくなったが、その後の自転車に対する取締り状況について教えていただきたい。

【回答】法改正により新たに罰則が規定され、取締りの対象となった自転車の違反について、昨年11月中における県下全体の検挙件数を申し上げますと、酒気帯び・酒酔い運転は38件、携帯電話使用等違反は1件となります。

（2）自転車盗について

【質問】犯人が自転車を盗む理由は、部品の転売を目的としているのか、それとも自転車そのものを目的としているのか、傾向について教えていただきたい。また、高価なマウンテンバイク等が盗まれることがあるのか教えていただきたい。

【回答】自転車を盗む理由ですが、主として自転車そのものを盗むことが目的である

と認識しています。

なお、当署管内では、何件か高級自転車の盗難被害を認知していますが、被害のほとんどを軽快自転車が占めています。

(3) 防犯カメラの設置計画について

【質問】先日、長野県で通り魔事件が発生したが、当県においても同様事案がいつ発生してもおかしくない状況にあると感じている。

このような事案に対しては、防犯カメラに一定の抑止効果が認められると考えるが、千葉西署管内における防犯カメラの設置計画について答えられる範囲で教えていただきたい。

【回答】防犯カメラについては、政府が推進している地方創生臨時交付金を活用した防犯対策に基づき、当署についても自治体に対して防犯カメラの設置の働き掛けを行ったところです。

今後、管内の犯罪発生状況を分析した上、防犯カメラの効果的な設置場所について自治体と検討することとしております。

(4) 働きやすい職場環境の形成について

【質問】当社においても、子育て世代の女性職員の柔軟な当直勤務への編入が問題となっているが、警察における当直勤務は何時から何時までなのか、また、その間の勤務時間内に一時的に仕事から離れること、いわゆる「中抜き」ができるような体制を取っているのか教えていただきたい。

【回答】当直勤務は、原則、開庁日は午後5時15分から翌日の午前8時30分までの間、閉庁日は午前8時30分から翌日の午前8時30分までの間となっております。

当直勤務の途中に休憩時間が置かれていますが、警察業務の性質上、例え休憩時間中であっても事案が発生すれば直ちに対応する必要があるため、いわゆる「中抜き」は認められておりません。

子育て世代の女性職員については、定期的な当直勤務ではなく、家族等と調整し、子育てに支障のない日を随時設定して当直勤務に就くことができるよう柔軟な対応を取っております。

(5) 少年の非行防止について

【質問】千葉西署では、先日、JR海浜幕張駅において闇バイトに対するキャンペーンを実施したとのことであるが、その際の若者の反応はどうだったのか、また、特に中学3年生向けに有益な闇バイト対策があれば教えていただきたい。

【回答】JR海浜幕張駅で実施した闇バイトに対するキャンペーンにおける若者の反応ですが、多くの若者が我々の思いを真剣に受け止めてくれ、大変有意義なも

のであったという印象を受けております。

次に、闇バイトに対する対策ですが、闇バイトは犯罪であり、闇バイトに応募した後に待っている現実を丁寧に伝えていくことが、最も有益であると考えております。

- 7 答申等に対する措置結果
なし